

各教育事務所の調査結果

宇城教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
 - (1) 小学校の成果と課題
 - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
 - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
 - (2) 学校質問紙調査
 - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

1 (1) 小学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと 【関連問題 2二】
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること 【関連問題 3三】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと 【関連問題 1四(1)ア】

算数 成果が見られた内容

- 示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式すること 【関連問題 4(2)】
- 2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ること 【関連問題 2(2)】
- 示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用すること 【関連問題 3(1)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 図表やグラフなどを用いた目的を捉えること 【関連問題 1一】
- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと 【関連問題 1三】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと 【関連問題 1四(1)ウ】

算数 課題が見られた内容

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること 【関連問題 2(4)】
- 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること 【関連問題 2(3)】
- 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること 【関連問題 3(2)】

1 (2) 中学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること【関連問題 3一】
- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと【関連問題 2三】

数学 成果が見られた内容

- 平行移動の意味を理解すること【関連問題 3】
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること【関連問題 8(2)】

英語 成果が見られた内容

- まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解すること【関連問題 2】
- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること【関連問題 1(4)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 封筒の書き方を理解して書くこと【関連問題 1四】
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること【関連問題 1二】

数学 課題が見られた内容

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること【関連問題 6(2)】
- 反比例の表から、 x と y の関係を式で表すこと【関連問題 4】

英語 課題が見られた内容

- 聞いて把握した内容について、適切に応じること【関連問題 4】
- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと【関連問題 9(3)①】

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学び の視点からの授業改善	学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	73.1	73.0	74.1	72.1	72.3	72.8
	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	82.2	81.0	82.8	75.0	71.5	74.9
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	63.0	64.4	65.7	57.2	58.0	61.5
	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	69.0	72.4	74.0	70.7	71.3	71.6
	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	72.7	72.9	73.4	64.3	63.5	65.6
	5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	75.3	76.5	77.7	71.1	70.1	74.8
	5年生まで（1,2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	53.7	59.0	62.5	45.6	47.3	55.8
学習習慣等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.5	68.3	71.5	51.7	45.1	50.4
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（1時間以上）	58.4	62.3	66.1	70.9	67.3	69.8
	読書は好きですか	74.8	74.1	75.0	62.4	64.2	68.0

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
地域や社会に関する状況	今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.6	71.9	68.0	51.7	48.6	50.6
	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	63.2	68.1	68.6	58.6	60.3	62.4
	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	73.8	76.0	76.1	61.4	59.7	59.3
基本的な生活習慣等	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.2	79.7	81.4	79.3	77.1	78.0
	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	73.4	74.9	77.4	72.2	74.6	76.4
規範意識、挑戦心、達成感、自己有用感等	自分には、よいところがあると思いますか	77.4	80.4	81.2	73.4	72.5	74.1
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	86.0	86.4	86.1	83.0	82.3	81.5
	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	90.6	93.2	91.7	82.8	83.0	84.6
	将来の夢や目標を持っていますか	82.5	84.7	83.8	71.9	70.5	70.5
	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	76.8	77.9	79.0	70.0	66.8	70.3
	学校に行くのは楽しいと思いますか	89.3	89.5	85.8	87.7	85.3	81.9
	人が困っているときは、進んで助けていますか	84.7	87.5	87.9	85.6	84.1	85.9
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.6	97.4	97.1	96.3	95.9	95.1
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.5	95.7	95.2	95.7	95.2	94.3

2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
カリキュラム・マネジメント	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	95.7	97.0	95.1	90.0	90.9	91.3
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	95.7	95.0	95.4	100	95.8	93.4
	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	95.7	93.2	96.4	100	90.3	86.9
	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	98.5	95.3	100	96.9	93.7
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	82.6	86.1	85.5	100	83.0	82.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	95.7	91.5	89.3	100	83.0	89.1
	調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	91.3	94.7	94.5	90.0	93.3	93.2
	調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導を工夫していますか	100	97.6	96.7	100	98.1	92.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	91.3	91.2	89.3	100	86.0	88.0
家庭学習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(教科共通)	95.7	91.5	92.2	90.0	88.5	87.0
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)	95.7	97.4	95.5	90.0	93.3	92.3

2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	95.7	92.6	91.1	100	82.4	89.3
	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	82.6	88.0	87.7	100	89.7	94.1
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	78.3	88.8	83.2	100	98.1	98.6
	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	91.3	97.9	95.1	100	95.2	92.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	95.7	98.6	98.8	100	98.2	98.6
教職員の資質能力の向上	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100	99.7	99.3	100	99.4	98.6
	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか（「1.ほぼ毎日」の割合）	95.7	80.9	71.8	70.0	53.9	48.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	78.3	66.4	65.0	90.0	77.0	68.0
	平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	69.6	58.9	60.6	90.0	61.8	60.0
その他	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	91.3	86.8	89.6	80.0	85.4	86.4
	平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	95.7	90.6	91.2	80.0	84.3	87.5

2 (3) 質問紙調査に関する分析

【児童・生徒質問紙から】

- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」及び「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。」では、昨年に引き続き全国平均を下回り課題が見られた。今後は、小・中学校ともに、目的を明確にした言語活動の充実を図り、授業改善に取り組む必要がある。
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」について、中学校では、県・全国平均を上回ったが、小学校では、いずれも下回った。今後、小・中学校及び家庭と連携し、学習習慣の定着について取り組む必要がある。

【学校質問紙調査結果から】

- 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。」では、県・全国平均を上回っているが、児童生徒質問紙からは課題が見えている。児童生徒の視点で課題解決に取り組む必要がある。
- 「全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。」では、昨年と同様に全ての小・中学校において取り組まれている。しかし、昨年度、県学力調査の教諭等が回答する意識調査Bの結果において、課題に対しての共通理解に基づいた取組や指導方法の工夫改善が十分と言えず、教師一人一人の意識を高め、学校総体として共通理解した取組を確実に実践していく必要がある。

3 今後の取組の重点事項

重点事項① 「課題改善に向けた方策の共通理解・共通実践」

【検証改善サイクルの「見える化」】

- 学校、学年及び教科等の課題を明確にし、その課題改善に向けた検証改善サイクルの取組を「いつ、どこで、誰が、どのようにして実践するのか」を具体的に「見える化」し、教職員一人一人の意識を高め、学校総体として実効性のある取組みを推進する。

重点事項② 「『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得の充実・深化」

【見届けの「日常化」及び児童生徒の視点に立った授業改善】

- 宇城教育事務所が示す「『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得」「めざす子どもの姿」を視点に、「見届け」において、3つの視点（子ども・教師・管理職）から、児童・生徒の自己肯定感や成就感につながる取組が行われるように指導する。また、必然性のあるめあての設定、主体的・対話的で深い学びの展開、何を学んだのかが分かる振り返り等、児童生徒の視点に立った授業改善について推進する。

重点事項③ 「家庭学習の一層の充実」 【家庭学習の充実と実施の「見届け」】

- 宇城地区学力向上対策会議等における取組を通して、中学校区毎の小中連携を基盤に、家庭学習の習慣化に向けた帰りの会等を活用した取組の充実と見届けを推進する。